

金運・開運祈願などに多くの人が訪れる
金持神社常夜祭と初詣で

新年が明け、金持神社に初詣で訪れた参拝客を迎えようと、12月31日（大みそか）の午後10時から町観光協会（小谷澄男会長）が常夜祭を行い、町内をはじめ県内外からも多くの家族連れなどが訪れました。

常夜祭では、札所（売店）開所や金持神社参道周辺に20基の石灯笼が点灯され、雪が降りしきる中、参拝者を温かく出迎えていました。

同神社の境内では、1月1日午前0時ごろから、多くの参拝者が列を作り、家族の無病息災や幸せから金運・開運まで、さまざまな願いを込めていました。



今年も良い1年でありますように・・・

また、1月1日午前10時から、同神社境内で金持青年会による獅子舞が披露され、写真愛好家らは夢中でシャッターを切り、参拝者は音楽と太鼓に合わせて勇壮に舞う獅子舞に見入っていました。

今年は、大みそかから降りはじめた雪の影響もあり例年に比べやや少なかつたものの、元旦から1月3日にかけて延べ約6300人の参拝者が訪れました。札所（売店）では、スタッフが「良い年になりますように」「気を付けて帰ってください」と参拝者一人一人に声を掛け、温かく迎える様子が見られました。



新年を迎えて早速お札やお守りを買って求める人でにぎわう

初詣での人をやさしい灯りで出迎いたい
黒坂3区自治会が聖神社参道に竹灯笼を点灯



風や雪で消えてしまわないよう慎重に灯していく

初詣でに訪れる人を温かく出迎ようと、黒坂3区自治会（谷口貴史会長）が、12月31日の大みそかから、聖神社に手作りの竹灯笼100本を点灯しました。

この取り組みは今年で5年目となり、灯笼の数も昨年の70本から大きく増えました。当日は、石段から境内にかけての参道を3区自治会の皆さんが次々と点灯していきました。星形などさまざまな模様にくり抜かれた竹灯笼が参道や境内をやわらかな光で照らし、初詣でに訪れた人を出迎えていました。

大願成就を願って

セルプひのが絵馬を寄贈

高校受験を控える地元の中学生に、無事志望校に合格してほしいと、12月12日、町内の福祉作業所セルプひの（社会福祉法人祥和会）が絵馬を贈りました。

絵馬は、同施設の職員と利用者の手作りで、生徒の合格祈願を込め「大願成就」と大きく書かれています。

日野中学校で行われた贈呈式では、セルプひのの浅井誠司所長と利用者の伊田祥弘さんが、3年生代表の小川滉生さんと大田瑞稀さんに手渡しました。

大田さんは「全員の進路が無事決まるよう頑張ります」と話し、受験へ向け気持ちを新たにしていました。



左から浅井所長、大田さん、小川さん、伊田さん



体も心も健康に地域で暮らそう
ほかほか教室で鳥取大学医師が講演



参加者一人一人とさまざまな意見交換を行う



病気や健康について参加者へ語りかける濱田さん

町では今年度から鳥取大学医学部と連携し、医療・福祉・保健・介護・生活支援が一体的に提供される仕組みづくりを進めています。

12月8日、黒坂3区自治会で開かれたほかほか教室では、鳥取大学医学部地域医療学講座准教授で医師の濱田紀宏さんが「病気がとうまく付き合い、地域で健康に暮らす秘訣」をテーマに参加者22人と意見交換をしました。

濱田さんは、参加者から血圧や服薬など教室に参加した目的を聞き取り「一人一人の『健康』は何を指しているかで異なる。体と心のどちらも満たされることで健康であり上手に病院にかかってほしい」と助言しました。

会場からは「痛いところがないこと」「食事がおいしく食べられること」「よく眠れること」など、健康について多くの意見が発表され、鳥取大学医学部医師と貴重な交流の機会を楽しみました。

今年度ほかほか教室では、このほか町内3自治会で同大学医学部医師による講座を予定しています。



笑顔でもちを手渡す同協会の田貝さん（左）と小谷会長

もちを食べて、元気に年を越してください
日野国際交流協会のもちつき交流

日野国際交流協会（小谷博徳会長）が、12月7日、ひのっこ保育所を訪れ、保育所とおひさまひろばの子どもたちに会員でついた5色のもちを贈りました。

これは、同協会が子どもたちに元気に正月を迎えてほしいとの願いを込めて毎年行っているもので、今回で6回目を迎えました。

贈られたもちは、白のほか、ホウレンソウ（緑）、ニンジン（赤）、カボチャ（黄）、ムラサキイモ（紫）の5色。子どもたちは笑顔で受け取り、早速その日のおやつで食べました。



一つ一つ確認しながら丁寧に箱詰めを行う

地元の味だけでなく、心も届けたい
朝市グループがふるさと便を発送

町外へ住む人たちに、町内の特産品などを届ける「ふるさと便」の発送作業が、12月22日、町山村開発センターで行われました。

これは、ニコニコ朝市グループ（大下恵代表）が毎年行っているもので、今回も全国から約160個の申し込みがありました。

ふるさと便には、金運永餅（なごもち）やきねつきもち、コンニャク、日野川源流特別栽培米コシヒカリなどが詰められました。

会員は「毎年喜んでもらっている」と話し、互いに声を掛け合いながら箱詰めなどの作業をしていました。